

## 令和7年度 第5回 「宇都宮市子ども・子育て会議」 議事録

1. 日 時 令和8年2月12日（木） 午後3時00分～午後4時30分
2. 場 所 中央生涯学習センター5階 人材かがやきセンター研修室
3. 議 事
  - ・ 「全天候型子どもの活動の場」の整備について
  - ・ こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）実施事業者の認可について
4. 出席者（委員：20名，事務局：25名，計：45名）
  - 【委 員】  
菊地香織委員，伊澤寿和委員，青木克介委員，仙波和夫委員，高橋利幸委員，  
田代純子委員，海野仁昭委員，中原いくみ委員，梓澤昌徳委員，永田文子委員，  
松本清美委員，鈴木拓朗委員，小林紀夫委員，釜井彰一委員，小池恵一郎委員，  
河田隆委員，中塚英範委員，鈴木亜周委員，海野仁昭委員，加藤百合委員
  - 【事務局】  
〔子ども部〕 高橋部長，塩田次長，坂井副参事  
〔子ども政策課〕 伊藤課長，戸井田主幹，江原室長，安野課長補佐，  
吉田係長，手塚係長，日野総括，北山総括，  
鱒淵主任主事，高山主任主事  
〔子ども支援課〕 大嶋課長，大橋所長  
〔保育課〕 伊藤課長，高桑課長補佐，安納副主幹，  
熊田係長，佐藤係長，齋藤係長，島崎総括  
〔子ども発達センター〕 枝所長，原口副所長  
〔生涯学習課〕 塚田課長
5. 公開・非公開の別 一部公開
6. 記者・傍聴者数 1人

発言者	内 容
	<p>1 開会 会議の一部公開について決定</p> <p>2 議事 【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「全天候型子どもの活動の場」の整備について</li> </ul>
事務局	(事務局説明)
会長	質問・意見等はあるか。
海野 委員	<p>整備場所について、「田原」という地理上、利用者は、車で移動できる人に限られるかと思う。「ゆうあいひろば」は、街中にあるため、利便性が良く、子どもたち同士で自由に出入りできていた。今後、新たにもう1箇所、整備する場合には、LRT沿線など、子どもやベビーカーの親子連れなどが自由に行きやすく、遊びやすい場所を検討していただきたい。</p>
事務局	<p>整備場所の選定にあたっては、街中（中心部）には「ゆうあいひろば」、南部にはリニューアルした「子ども総合科学館」があり、北部においては類似施設が少ないことから、市内全体のバランスを鑑み、「田原」を候補地とした。</p> <p>また、令和7年6月に実施した「屋内の遊び場」に関するアンケート調査によると、「ゆうあいひろば」の利用者の9割以上が車で移動している。</p> <p>これらを踏まえ、駐車場が広い点なども含め、評価したところである。委員ご提案の「誰でも気軽に行ける」という視点は大事だと思うので、今後、新たに整備を計画する際には、その点を踏まえ、検討していく。</p>
会長	「子ども総合科学館」リニューアル後の利用者数は把握しているか。
事務局	正確な数字は把握していないが、多くの方が来場しているという情報は把握している。
中塚 委員	<p>人数のキャパシティについて、現在、「ゆうあいひろば」では、事前予約枠80名、当日枠20名で合計100名の受入れが可能となっているが、新たな遊び場はどのくらいの受入れが可能なのか。</p> <p>また、公設や民間の遊び場において、デジタルツールを活用した遊具を取り入れているところがあるが、こういった遊具は検討しているか。</p>

事務局	<p>まず、人数のキャパシティについて、9ページの下の方にある「多目的ホール」は「ゆうあいひろば」と同様に100名程度の利用が可能であり、加えて、工作・創作ができる児童館エリアを含めると、「ゆうあいひろば」よりも利用人数は多くなる想定である。</p> <p>また、デジタルツールについては、「ゆうあいひろば」にもプロスポーツの要素を取り入れたデジタル遊具があり、今回、整備する施設においても、こういった遊具を取り入れていきたいと考えている。加えて、工作・創作エリアにおいては、プログラミングなどのイベントも開催していきたいと考えている。</p>
中塚委員	<p>子どもたちは、設置されたものの中でも、遊びを生み出していく。何でもかんでも禁止にするのではなく、安全に配慮しながら子どもの自由な遊びを確保してもらいたい。屋外型の遊び場で子どもが自由に遊べる、川崎市の「子ども夢パーク」など、こういった場所も参考にしながら、自由な遊び場の整理を進めていただきたい。</p>
永田委員	<p>ゾーニングについて、「多目的ホール」は小学生以上のお子さん、「児童館」が未就学児をイメージしているのか。</p>
事務局	<p>概ね、そのようなエリア分けで考えている。今回、整備する施設については、小学校高学年も対象としており、子どもたちの安全を確保するという観点から、「多目的ホール」は小学生が中心、「児童館」は乳幼児と考えている。</p>
永田委員	<p>「遊び」は「学び」であり、「学び」は「遊び」だと考えている。安全面への配慮から、エリアを分けるのは妥当かと思うが、せっかく未就学児から小学校高学年を対象としているため、自分よりも大きなお兄さんお姉さんが遊んでいるところから学ぶことができるよう、距離を離すのではなく、お互いが見えるよう、ゾーニングで分けるなど、異年齢での関わりを意識した整備をしていただきたい。</p> <p>また、「ゆうあいひろば」には保育士が配置されていると思うが、保育士の確保については、どのくらいの人数を想定しているのか。</p>
事務局	<p>まず、エリア分けについて、異世代間の交流は大変重要だと考えていることから、いただいた意見を踏まえ、ゾーニングの中で一部交わるようにするなど、エリア分けについて、一体感のあるゾーニングを検討していく。加えて、インクルーシブの視点から、いろいろな方が来ていただけるよう、整備を考えていく。</p>

	<p>次に、保育士の配置について、「ゆうあいひろば」には、「一時預かり」機能があるため、保育士を配置しているが、今回、整備する施設については、「一時預かり」機能の導入予定はないため、保育士の配置は検討していないが、保護者が安心して利用できるよう、保護者同士の交流など、そういった面での充実を図っていききたい。</p>
<p>中原 委員</p>	<p>障がい者の子どもたちが行けるところが少なく、視覚障がい者向けの点字の案内や、車いす用のトイレを設置するなど、いろいろな人が使いやすいようにしていただきたい。障がい者をみるのが一番、理解につながり、ユニバーサルな社会につながると考えている。</p>
<p>事務局</p>	<p>インクルーシブという観点から、誰でも一緒に使える遊具や、点字・バリアフリートイレを設置するなど、いただいた意見を参考にしながら、今後の整備を進めていきたい。</p>
<p>菊地 委員</p>	<p>北部には、「キッズランドUS」という民間施設があるが、利用者の取り合いにならないのか。エア遊具は高学年が遊べるのか。放課後等デイサービスでは、こういった施設に遊びに行くことがあるが、中高生も使えるのか。障がい者で大きな声を出してしまう子があり、乳幼児の保護者に嫌がられてしまうこともあるが、乳幼児エリアを分けることなどは考えているか。</p>
<p>事務局</p>	<p>「キッズランドUS」については、本市も実際に視察を行ったが、民間施設ということもあり遊びの要素が強いが、今回、整備する施設については、遊びだけでなく、工作や創作などの学びの要素も重視していることから棲み分けはできていると考えている。</p> <p>エア遊具については、主に未就学児～小学校低学年を想定している。いただいた意見を踏まえながら遊具の選定やゾーニングを検討していく。</p>
<p>釜井 委員</p>	<p>子どもたちの活動の場になることで、地域の人たちが不便になることはないのか。来年度から工事ははじまるが、地域との話し合いはすでに行っているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>これまで地域のコミュニティ施設として地域の方に利用されてきた。今回の整備により、多目的ホールは使えなくなるが、会議室などの貸館機能は今後も引き続き継続することや施設全体の利便性向上につながる改修を併せて行う予定であり、現在、地域の方々とも、話し合いをしながら進めている。</p>

各委員	(質問・意見等なし)
会長	本議題について、了承いただけるか。
各委員	了承。
	<p><b>【協議事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）実施事業者の認可について</li> </ul>
事務局	(事務局説明)
会長	質問・意見等はあるか。
伊澤委員	<p>資料1 7ページの結果の総括において、南部区域については確保定員数が想定を下回ったとのことであるが、南部区域の今後の対応について詳しく教えてほしい。</p> <p>また、資料1 1ページの北東部の選定結果について、0歳児の受入を行う施設がないが、北東部における0歳児の利用ニーズに、どのように対応していくのか。</p>
事務局	<p>各区域の利用見込みについては、本年度の5月に実施したニーズ調査の結果を踏まえて推計したもので、南部区域についてはその推計に基づく目標定員数には至らなかったが、3施設は確保できている状況であるので、まずは稼働状況などを見ていきたいと考えている。</p> <p>3施設で実施していく中で、受入可能数を超える利用意向が見られるなどの状況であれば、既存施設の定員拡大や新規事業者の確保など、必要な対応について検討していきたいと考えている。</p> <p>また、北東部区域については、今回新規に選定した3事業者は0歳児の受入枠がないが、既存事業者である「みふみ認定こども園」においては0歳児の受入を実施している。また、今回選定した3事業者はいずれも幼稚園が母体と言うことで、調乳室など0歳児を受け入れるための施設・設備が現状では確保できていない状況であるが、一部の事業者からは、事業が軌道に乗り次第、0歳児の受入体制を確保していきたいという話を伺っており、順次、体制が確保されてくるものと考えている。</p>
会長	現在、プレ事業として実施しているとのことだが、利用状況は。

事務局	<p>現在、市内5施設でプレ事業を実施しており、登録者数は約120名となっているが、利用したい施設や時間帯が重複してしまうなどのケースもあると伺っている。</p> <p>令和8年度からは本格実施となり、実施施設数も拡大するので、利用したい人が利用したい特に利用できる体制が確保されるものと考えている。</p>
各委員	(質問・意見等なし)
会長	本議題について、了承いただけるか。
各委員	了承。
	3 その他
会長	質問・意見等はあるか。
釜井委員	<p>前回の議題であった『「宇都宮市児童相談所設置基本計画」(素案)』について、相談室などのスペースを設ける予定と話があったが、現在の活動に支障がないよう検討を進めていただきたい。</p> <p>また、巡回指導委員会では、中央生涯学習センターにある「青少年自立支援センター」を拠点に活動しており、複合施設となり、移転すると、今よりも交通の便が悪くなると思う。そのため、駐車場は広い方がいいと思うが、駐車スペースはどのくらいになるのか。</p>
事務局	<p>相談室などのスペースについては、今後、基本設計等に入るので、その中で複合施設となる関係者とのヒアリングなどを行いながら、今行っている支援に支障がないよう、施設設計を進めていく。</p> <p>また、駐車スペースについて、現時点では20台前後を想定している。</p>
各委員	(質問・意見等なし)
	4 閉会
事務局	<p>以上で、第5回宇都宮市子ども・子育て会議を閉会する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>